

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はあとf+j小郡南		
○保護者評価実施期間	2026年 1 月 8 日		～ 2026年 1 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2026年 1 月 10 日		～ 2026年 1 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1 月 10 日		～ 2026年 1 月 30 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3校	(回答数) 3校
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2 月 27 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関と・保護者との橋渡し役になれる	家庭・関係機関の共通理解を促し、同じ方向を向いて子どもを支える調整役になっている。日頃から訪問先と訪問内容等を事前に話し合いを行っている。訪問後は、速やかに訪問結果内容を報告している。	継続的な連携が図れるよう、日頃から相談しやすい関係づくりを大切にしていく。
2	現場に寄り添った具体的な助言ができる	実際の保育現場を観察した上で、「明日からできる」「無理のない」支援方法を伝えられるため、訪問側にとっても実践しやすく信頼につながる。	支援の目的や子どもの状況について、分かりやすい言葉で丁寧に共有することを心がけていく。
3	子どもを取り巻く環境全体をみて支援できる力	子どもの小さな変化や成長も積極的に伝え、現場の実情に即した助言や支援提案を行っている。	各関係機関との共通理解を大切にしていき、「この先」を見据えた支援や助言ができるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問指導員が現在一名	訪問内容によっては、担当者を変更した方が良い時があるため。	訪問指導員を一名増員する必要がある。
2			
3			